崇広中だより

【カラー版を、ホームページに掲載しています】

NO.2　　2022.5.25

発行　崇広中学校長

学校での新型コロナウイルス感染拡大防止について

学校では、ほぼ毎日、新型コロナウイルスに感染したり、感染者の濃厚接触者になったり、本人や家族が感染の可能性があり医療機関での判断を待っているという理由で、登校を控えていただいている生徒がいます。今は、急激な増加傾向は見られませんが、状況が劇的に改善されたわけでもありません。現在、学校における対応がはじめの頃とは変わっています。現時点での学校の対応をお知らせします。

○　学級閉鎖の基準について

学級の生徒の感染が判明した場合に、１人でも感染したら学級閉鎖を実施していた時期もありました。現在は、複数の感染者がいても、それぞれが別の感染源から感染したことが明らかである場合は、学級閉鎖は行っていません。学級や部活動などで感染した可能性があり、校内での感染拡大の危険性がある場合のみ、保健所や市教育委員会との相談のもと、学級閉鎖・学年閉鎖・学校閉鎖などの臨時休業措置をとることになっています。

○　マスクの着用について

原則、マスクの着用をお願いしています。しかし、これから気温や湿度が高くなる時期に向かいますので、熱中症になる危険度が増しています。そのため、下記のような状況では、マスクを外しても良いと考えています。ただし、マスクを着用したい方は着用してください。

１．体育の授業や部活動など、運動を行うとき

２．熱中症になる危険性が高いとき

３．屋外で他人との距離が十分にとれているとき

４．特に３の場合の具体例として、登下校時に、他人との距離が十分にとれているとき

※　熱中症対策を優先した対応をいたします。

○　登校を控えていただきたい場合

このことについては、今までとは何も変わったことはありません。今までと同様に、本人や家族が陽性や濃厚接触者となった場合の他に、本人や家族に、かぜ症状があった場合は、医療機関などを必ず受診し、登校を控えるとともに、学校に連絡してください。状況に応じて、「新型コロナウイルス感染拡大防止のための出席停止」とさせていただきます。

１学期の中間テストを実施しました

５月２３日(月)・２４日(火)、１学期の中間テストを実施しました。生徒のみなさんは、精一杯の取組ができたでしょうか。中間テストや期末テストでは、基本的に決められた範囲の中から出題されます。授業で学んだ内容や授業で学んだ解き方を活用して解答する問題などが大半です。授業で学んだことを、どれくらい理解できているか、どれくらい知識が身についているかがテストの結果に表れると言ってもいいでしょう。

テストですから、みなさんが結果を気にする気持ちはよく分かります。でも、定期テストで大切なのは結果だけではありません。次の三つが大切です。

①　テストに向けた取組

②　テストへの取組

③　テストの結果をもとにした取組

今回は「③テストの結果をもとにした取組」について、少しお伝えしましょう。

みなさんは普段問題集などを解いた後、どうしていますか。ちゃんと「○つけ（答え合わせ)」をしていますか。間違った問題をほおっておいていませんか。間違った問題を「分かるまで」、調べたり、聞いたりしていますか。よく考えてみてください。その時間違った問題は、その時に理解しておかなければ、次に同じ問題に出会った時、また同じ結果になってしまいます。

テストでも同じことが言えます。中間テストが返ってきたとき、間違った問題をその時に理解して、「できるようになる」ことが、学力アップにつながるということです。高校入試を一つの目標に挙げている人は多いと思います。入試に向けては、中学校３年間のすべての学習内容が、対象となります。限られた期間内に、多くの学習範囲を復習するのはたいへんなことです。時間と集中力が必要になります。中間テストや期末テストの結果をもとにした取組を、その都度ていねいに行うことで、自分の学力を向上させることができ、高校入試に向けた大切な学習の機会とすることができるのです。

もし勉強に「効率的な勉強方法」があるとしたなら、「過去に間違った問題を集めて、できるようにする」勉強でしょうか。そう考えると返却された中間テストや期末テストは、最終的に、あなただけの特別問題集になり得るかもしれません。

２０２２年度生徒会スローガン決定「青春開花」

生徒会として、「青春の花を開かせるために、自分たちで頑張ろう」という思いを込めたスローガンだそうです。コロナの影響で、思うように行事や取組ができなかった２年間。今年は、みなさんの青春が花開くことを楽しみしています。応援しますよ。